

## 令和6年度 第1回区自治協議会会長会議

日時	令和6年7月9日（火）午前10時30分 ～ 午前11時45分	
会場	新潟市役所本館 3階 対策室2	
出席者	会長	前田 義憲 北区会長、 佐藤 雅之 中央区会長、 中島 純 秋葉区会長、 大谷 一男 西区会長、 佐藤 清 東区会長、 中野 高子 江南区会長、 高橋 直廣 南区会長、 吉田 金豊 西蒲区会長
	事務局等	市民生活部長ほか
傍聴者	0名	
主な議題	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 令和6年度全体委員研修会の振り返り（報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料1「令和6年度 新潟市区自治協議会 全体委員研修会の記録」に基づき、同研修会のアンケート結果等について、事務局から報告がありました。</li> <li>研修会の記録には、開催概要、分科会（意見交換）における主な意見、研修後アンケート結果の3点について掲載がありました。</li> <li>能登半島地震の初期対応に関する意見をはじめ、分科会での主な意見については、市危機管理防災局へも共有することとしました。</li> <li>研修後アンケート結果については、主な項目（以下3点）に限定して紹介がありました。</li> <li>1点目、「研修会の内容」については、約9割の参加者が、「非常に良かった」又は「良かった」に回答されました。</li> <li>2点目、「事例発表や分科会の内容は、ご自身の区にとって参考になりましたか？」という質問に対しては、約9割の参加者が、「非常に参考になった」又は「参考になった」と回答されました。</li> <li>3点目、「次年度の研修会のプログラム」については、分科会（意見交換）の回答数が最多となっており、第1希望のみの回答でも分科会（意見交換）が最多となりました。</li> <li>今回の研修会は、能登半島地震の初期対応を振り返るとともに、防災意識のさらなる向上を図るうえで、有意義な機会になったと事務局より総括がありました。</li> <li>研修会の記録は、7月以降の各区自治協議会で配布することとしました。</li> </ul>	

**【研修会の記録に関する質問、次年度の研修に向けた改善点】**

Q：研修会の記録10ページの「研修会の内容」について、「あまりよくなかった」に回答した方の意見などは載っているのか。

A：研修会の評価や改善点等のご意見は、13ページに記載している。評価が低かった要因としては、分科会的话题をもっと絞るべき、司会等の役割は事前に決めておき、時間配分を考えて議論をコントロールした方がよいといった意見によるものと捉えている。

**(2) 第9期振り返り資料の方向性について（意見交換）**

- 資料2「第9期振り返り資料の方向性について」に基づき、毎期末作成している振り返り資料について、見出し5「会長会議からの引継ぎ事項」を、第9期振り返り資料に盛り込むのか、盛り込む場合はどのような内容で作成をするのか、事務局より検討事項として提示があり、その後意見交換が行われました。
- 意見交換の結果、第9期振り返り資料における会長会議からの引継ぎ事項は、「防災」をテーマとした内容を盛り込むことに決定しました。

**※参考**

- 見出し5「会長会議からの引継ぎ事項」は、各期の振り返り資料の巻末に掲載されており、会長会議から全区の次期委員に向けて参考となる事項を引き継いだ内容となっている。
- 第8期は、新総合計画に関連して実施した自治協委員アンケートの結果を盛り込むなど、その期の活動において影響の大きかったテーマに関連した内容で作成している。

**(3) 各区自治協議会の運営状況、提案事業の進捗状況について（情報共有）**

- 参考資料1「令和6年度各区自治協提案事業一覧表」、参考資料2「令和6年度会議体設置状況一覧表」に基づき、今年度、各区自治協議会が重点的に取り組む事項について、各会長から報告がありました。

**(北区)**

- 地域づくり部会では、区民一人ひとりの防災意識の向上と地域全体の防災力の向上を目的に、「北区防災かるた」の作成に向けて、ホームページ上で絵札と読み札の募集をかけている。
- 福祉教育部会では、定年退職後の方や地域活動に興味はあるが一歩踏み出せない方をターゲットに講演会やワークショップの実施を予定している。幅広い世代から社会貢献に関心をもってもらい、地域活動の担い手として育て、活動そのものの継続や発展を図りたい。
- 自然文化部会では、北区の魅力発信と交流人口の拡大を目的に、福島潟自然文化祭の開催に合わせ、トークセッションや潟料理の試食などを予定している。

**(東区)**

- 委員任期の1年目は地域課題の調査研究、2年目は事業実施という方針をとっており、昨年は15歳以上の東区民3000人を無作為に抽出して「東区民意識調査」を行い、約45%の方から回答をいただいた。回答結果をもとに、各部会で今年度の事業を検討している。

- 第1部会では、東区の全地域に関連する防災講演会と東区総務課が今年度に作成予定の防災リーフレットの活用方法を説明するワークショップの2部構成のイベントを東区総務課と連携して開催する予定。
- 第2部会では、こども食堂を中心とした交流の場づくりをテーマに、区内のこども食堂運営者に対して、現状や支援のニーズに関するインタビューを実施した。こども食堂を利用しやすくするために、開催周知の「のぼり旗」の制作について実施する方向で検討している。
- 第3部会では、大形駅、東新潟駅、越後石山駅周辺を中心とした東区の南側エリアの魅力発信事業を検討している。

#### (中央区)

- 中央区では、まちづくりを基軸に人口や観光の視点から新潟市の活性化を目標に活動している。
- 第1部会、第4部会では、にいがた2kmを中心に食や文化についてのアピールを通じて、全国や世界から観光客が訪れるようなまちづくりに向けて活動している。
- 第2部会では、能登半島地震を受けて、コミ協・施設管理者へのアンケートを実施し、今後の対応を検討するとともに、講演会等の開催を予定している。
- 第3部会では、鳥屋野潟の観光地としての活用に向けた活動を行っている。

#### (江南区)

- まちづくり部会では、横越、曾野木、両川をテーマに作成した3部作のまち歩きマップをもとに、大人の遠足のようなまち巡りのイベントを検討していきたい。まち巡りを通じて、防災の観点からも学びのあるイベントにしたいと考えている。
- 環境・教育部会では、9月29日(日)に大江山でスポGOMI大会の開催を予定している。スポGOMIという新しいスポーツを通じて、多世代交流を促進していきたい。
- 安心安全部会では、能登半島地震によって防災意識が市全体で高まっていることから、自主防災組織の支援を通じて、安心安全なまちづくりを推進していく。

#### (秋葉区)

- 秋葉区では、こどもまんなかの秋葉区づくりをスローガンに、次世代育成を基軸にした活動を推進している。
- 今年度は、昨年区内の11コミ協を対象に策定した未来ビジョンに向けたアクションプランを、きらめきサポートプロジェクトと組み合わせることで実行に移していく。
- 若者の人材発掘、育成を目的とする「若者塾」をスタートさせ、自治協が若者、学校、地域を繋ぐハブとなれるよう活動に取り組んでいきたい。

#### (南区)

- 第1部会では、「防災意識啓発事業」と「きれいなまち美南区クリーンアップ月間事業」を実施し、防災意識の醸成と区民の美化意識向上を図る。

- ・第2部会では、家族のつながりを大切に、温かい家庭を育むことを目的とした「南区家族ふれ愛事業」と、子育て世帯の負担軽減と地域人材を活用した世代間交流を目的に「夏休みの宿題サポート事業」を実施する。
- ・第3部会では、「南区おいしいもの満載お宝探訪事業」と「産業・伝統・味覚 南区3セットツアー事業」を実施する予定。第3部会が主催する「南区味わい市場」には、第1部会と第2部会が出店する予定で、3部会が初めて合同で実施する一押し事業である。
- ・部会とは別に、区の活性化に向けた多様な事業を地域活動団体から募り、自治協提案事業の一部として委託する「南区まちづくり活動サポート事業」を今年度も実施する。

#### (西蒲区)

- ・今年度は初の3部会合同事業に向けて準備を進めており、10月19日(土)に城山運動公園内で各部会のテーマに基づいた出店を行う。
- ・まちづくり産業部会を主体に、にしかん応援隊というボランティア制度を設計し、地域のイベントにおけるスタッフの人手不足の解消と地域内外の交流促進を目指している。

#### (西区)

- ・西区では、「防犯事業」、「支え合いの大切さ普及事業」、「西区の魅力発掘事業」、「地域の防災力向上事業」、「西区アートフェスティバル」を実施する。
- ・特に「支え合いの大切さ普及事業」においては、引き続き、西区内のコミ協や自治会、小中学校や事業者にも協力を呼び掛けながら、あいさつ運動の水平展開を目指していく。

#### 【事務局からの情報共有】

- ・次回の区自治協議会会長会議の開催時期等について、事務局から情報共有がありました。

### 3 閉会

#### 会議資料

□次 第

□資料1 : 令和6年度 新潟市区自治協議会 全体委員研修会の記録

□資料2 : 第9期振り返り資料の方向性について

□参考資料1 : 令和6年度各区自治協提案事業一覧表

□参考資料2 : 令和6年度会議体設置状況一覧表